

# 米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。



## ご挨拶

熱中症が気になる季節になってきました。本格的な夏を前に今年は「暑熱順化」を意識してはいかがでしょうか？

「暑熱順化」とは徐々に体を暑さに慣れさせることです。ジョギングやウォーキング、入浴などで本格的な夏が来る前に汗をかいておくことで体温調節がスムーズになるといわれています。

梅雨明けや梅雨の晴れ間は体が暑さに慣れてなく熱中症になりやすいといわれています。今のうちから少しづつ暑さに慣れておくことを意識してはいかがでしょうか？

日本気象協会の熱中症情報サイト（「熱中症ゼロ 暑熱順化」と検索）に暑熱順化のやり方がわかりやすく書いてありますので参考にしてみてください。



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

今年も大活躍の大谷選手が野球選手の収入ランキングで1位になりました。他の野球選手と全く異なる評価をされているのですね。

## こどもの数、42年連続減少

先月のこどもの日にちなんで総務省は2023年4月1日現在のこどもの数（15歳未満人口）を公表しました。

それによるとこどもの数は1435万人、前年から30万人減少、42年連続減少で過去最少になりました。人口減少のニュースが多すぎてあまり驚かなくなった人も多いと思いますが、気になるのは人口に占めるこどもの割合です。

総人口に占めるこどもの割合は、1950年代には30%を超えていましたが11.5%にまで減少しました。一方高齢者の割合は29.1%と少しいびつな印象です。

年次	総人口 (万人)	15歳未満 (こどもの数・割合)		65歳以上	
		人口(万人)	割合(%)	人口(万人)	割合(%)
1950年	8320	2943	35.4	411	4.9
1960年	9342	2807	30.0	535	5.7
1970年	10372	2482	23.9	733	7.1
1980年	11706	2752	23.5	1065	9.1
1990年	12361	2254	18.2	1493	12.1
2000年	12693	1851	14.6	2204	17.4
2010年	12806	1684	13.1	2948	23.0
2020年	12615	1503	11.9	3603	28.6
2023年	12447	1435	11.5	3619	29.1

この表をみると「少子高齢化」という言葉が実感できますね。

人口問題は社会保障問題に直結します。保険や年金の見直し、確認はしっかりとしておきましょう。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店

〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階

電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

## ちょっと気になるお金のコラム

3月のWBC（ワールドベースボールクラシック）での日本チームの活躍は素晴らしかったですね。特に準決勝、決勝はドラマティックでした。

今回の日本チームの中心はやはり米国でも活躍している大谷選手だったのではないのでしょうか？

### 米MLB総収入ランキング 大谷選手が1位

その大谷選手が米経済紙Forbesが発表した米国大リーグ選手の総収入ランキングで歴代最高額の6500万ドル（約87億円 1ドル135円）で1位になりました。

6500万ドルの内訳をみると球団からの年棒が3000万ドル、スポンサー契約などのグラウンド外の収入が3500万ドルでした。

MLB野球選手総収入ベスト10 (Forbes)

	年棒	その他	合計
大谷翔平	3,000	3,500	6,500
マックス・シャーザー	5,830	100	5,930
アーロン・ジャッジ	4,000	450	4,450
ジャスティン・バーランダー	4,330	100	4,430
マイク・トラウト	3,550	400	3,950
アンソニー・レンドーン	3,800	20	3,820
カルロス・コレア	3,600	100	3,700
ゲリット・コール	3,600	50	3,650
コリー・シーガー	3,500	100	3,600
ノーラン・アレナード	3,500	200	3,700

(単位万ドル)

大谷選手の特徴はグラウンド外のスポンサー収入などが突出して多いことです。二刀流という稀有な存在であること、人柄などが多くの企業に評価されている証ではないのでしょうか？

### 東京ニューヨーク、往復6000万円

3月に大谷選手が来日した時に乗ってきたビジネスジェット（プライベートジェット）も話題になりました。いくらぐらいあればジェット機をチャーターすることができるか気になる人もいるのではないのでしょうか？

下表はANAビジネスジェットHPに掲載されているサンプル料金の抜粋です。

東京ーニューヨークー東京	約6,000万円～	13席程度
東京ーホノルルー東京	約4,000万円～	13席程度
東京ーロンドンー東京	約6,000万円～	13席程度
東京ーシンガポールー東京	約3,100万円～	13席程度
東京ー新千歳ー東京	約400万円～	4～5席
東京ー下地島(宮古島)ー東京	約700万円～	4～5席

ほとんど贅沢品にお金を使わない大谷選手が負担なく移動しコンディションを保つために高額なビジネスジェットをチャーターした、と報道されていましたが収入からみると約0.7%程度、年収700万円の人の5万円と同程度です。

贅沢品や嗜好品ではなくコンディションが成績に結び付くスポーツ選手にとっては稼ぐための必要経費と言えます。そう考えると決して法外な金額ではないのかもしれないですね。

国内だと数百万円です。将来に向けてしっかりと資産形成をして老後のご褒美にビジネスジェットで旅行をするのもよいかもかもしれませんね。

